

# NP-1000 型 簡易取扱説明書

## 始動準備

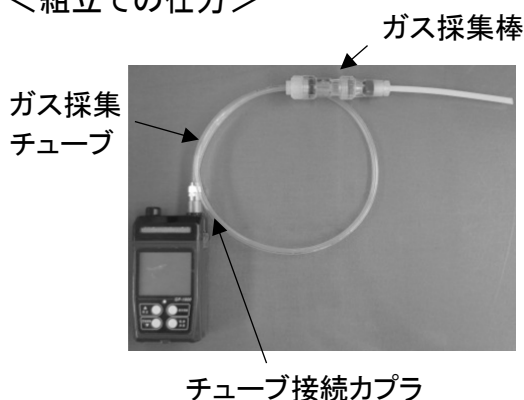
1. 傷防止のため出荷時に表示部に貼付された保護フィルムが付いていないことを確認してください。
2. 電池が装着されていること及び電池残量が十分あることを確認してください。
3. ダストフィルタに汚れがないことを確認してください。
4. ガス採集棒に緩みが無いことを確認してください。
5. チューブ接続カプラがしっかり接続されていることを確認してください。

## 基本操作

### 1. 組立ての仕方

ガス採集棒を右図のように本体に接続します。

＜組立ての仕方＞



### 2. 電源の入れ方

ブザーがピッと鳴るまで[電源]ボタンを押します。  
電源が入った後、LCD が自動的に切り替わり、  
検知モードに入ります。

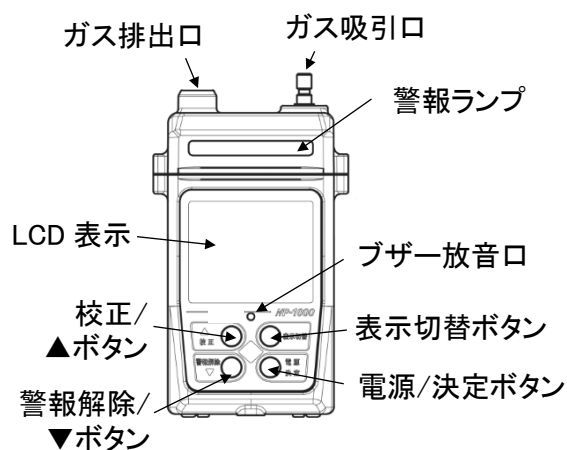
### 3. エア校正の仕方

※周囲が新鮮な大気中であることを確認して下さい。  
検知モードで[校正]ボタンを長押しし、  
『Adj~RELEASE』表示になったらボタンを離します。

### 4. 検知の仕方

始動の準備が整いエア校正ができれば、検知モードで  
検知箇所にプローブを近づけ、ガス検知を行います。

＜各部名称＞



### 5. 電源の切り方

[電源]ボタンをブザーがピッピッピッピッと鳴り  
『TURN OFF』表示が消えるまで押すと電源が切れます。

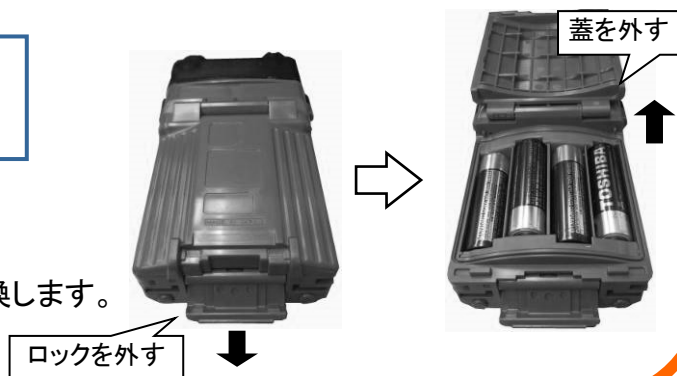
### 6. 電池の装着方法



**危険**

電池の交換は、安全な場所で行ってください。

電池が切れていることを確認します。  
電池蓋のロックを外して、電池蓋を開けます。  
電池の極性に注意して4本とも新しい電池に交換します。  
電池蓋を閉め、ロックします。



注記：詳細は取扱説明書をご参照願います。

## レンジモード切り替え方法

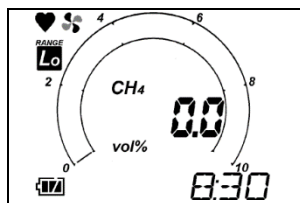
本器は、<Lo>ローレンジ(0-10.0vol%)固定、<Auto>自動レンジ切替、<Hi>ハイレンジ(0-100vol%)固定を切り替えて使用できます。

<Auto>は、ローレンジとハイレンジを自動的に切り替えます。

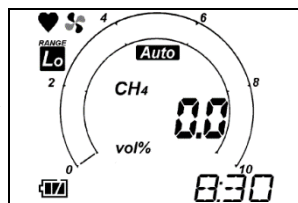
レンジモードは、電源を切ったときのモードを保持します。

### 切り替え方法

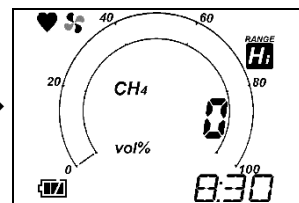
[電源]ボタンを押します。  
ボタンを押すたびにブザー音が“ピッ”と1回鳴り、レンジが切り替わります。



<Lo>ローレンジ  
(0.0-10.0vol%)固定



<Auto>  
自動レンジ切替



<Hi>ハイレンジ  
(0-100vol%)固定

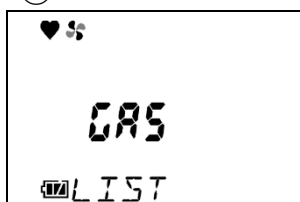
※<Auto>では、選択されているレンジアイコン(LoまたはHi)も点灯します。

## 濃度表示ガス読み替え(BASE)設定

通常、本器の濃度表示は「メタン(CH4)」ですが、予め登録してあるガスに読み替え、濃度表示することができます。(仕様により読み替えできないガス種があります。詳細は下表を参照してください。)

### 設定方法

①



[決定]ボタンを押して、BASEガス設定へ遷移します。

②



[▲]又は[▼]ボタンでBASEガス名を選択して[決定]ボタンを押します。

③



[▲]又は[▼]ボタンで読み替えガス名を選択して[決定]ボタンを押します。

④



「END」表示の後、ディスプレイモードメニューへ戻ります。

NP-1000 ガス種一覧

読み替えガス種一覧	ガス名表示	読み替え
メタン	CH4	○
プロパン	C3H8	○
イソブタン	i-C4H10	○
アルゴン	Ar	○
ヘリウム	He	○
水素	H2	×

### 注記

・水素を測定する場合はご依頼時にご指定下さい。  
水素は読み替え機能での表示はできません。